

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp) カバジタキセル(ジェブタナ) 25 mg/m<sup>2</sup> day 1 3週毎  
 プレドニン(内服) 10mg 2x day1~連日

●Day1~連日  
 プレドニン錠5mg 2錠 2×朝昼食後/day

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①
生理食塩液 100mL 1 瓶

側管①	生理食塩液開始時30分かけて
30分	【50mL】生理食塩液 50 1 瓶
↓	ポラミン注5mg 1 管
	デカドロン注射液1. 65mg 5 管
	ファモチジン静注20mg「日 1 管

側管②
大塚生食注 250mL 1 袋
カバジタキセル mg
<腫>ジェブタナ点滴静注60mg:
60分
↓

**<実施時の注意>**  
 漏出時:漏出時は直ちに投与を中止し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。  
 調製後のカバジタキセルが結晶として析出する可能性があるため、投与時には0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを通して投与すること。  
 ポリ塩化ビニル製の輸液バッグ及びポリウレタン製の輸液セットの使用は避けること。

**<用量規制因子>**  
 【減量スケール】 25 mg/m<sup>2</sup> → 20 mg/m<sup>2</sup>  
 ①Grade3以上の好中球減少症が1週間以上持続⇒1500/mm<sup>3</sup> を超えるまで休薬  
 ②発熱性好中球減少症又は好中球減少症感染発現⇒症状回復・改善し、好中球1500/mm<sup>3</sup> を超えるまで休薬  
 ③Grade3以上の下痢⇒症状回復・改善まで休薬  
 ④末梢性ニューロパチー⇒Grade3以上は投与中止、Grade2は減量  
 ⑤血小板数が25,000/μL未満⇒75,000/μLを超えるまで休薬  
 ⑥肝毒性⇒ALT/AST又はビリルビンが施設基準値上限1.5倍以下の回復まで休薬

**<注意すべき副作用>**  
 ●食欲不振、吐き気 ●不眠 ●胃部不快感 ●口内炎 ●手足のしびれ ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)  
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●肝機能低下 ●下痢 ●手や足のむくみ ●爪の変化